

## 2023(令和 5)年度(公社)日本水環境学会東北支部セミナー

### 開催の趣旨

東日本大震災が起因となった福島第一原子力発電所の事故から 12 年が経過しました。帰還困難区域を除く面的除染は完了し、空間線量率の低下により避難指示解除が進行しており、福島県を取り巻く放射線の現状と課題は大きく変化しています。そこで 6 年ぶりに福島県で開催する本セミナーでは、福島県の放射線に関する現況について学術的な視点で話題提供することいたしました。

福島県は全国第 4 位の 97 万 4,000ha の森林面積を有し県土面積の約 71%を森林が占めておりますが、森林における除染は生活圏森林を中心とした限定的なものであるため、森林における放射線の動向と対応が相対的に大きな課題となってきていると言えます。本セミナーでは森林の放射線に焦点をあて、最新の森林モニタリング調査結果をはじめとした 3 件の調査研究について報告いたします。加えて、福島県の放射線に関する現況として、福島第一原子力発電所処理水放流後の海域モニタリングの調査結果と残された帰還困難区域における行政の取り組みについても報告いたします。

主催 日本水環境学会東北支部

期日 2023 年 11 月 25 日(土)13:30~16:30

場所 会場: 日本大学工学部 70 号館 7044 教室 (福島県郡山市田村町徳定字中河原 1)

### 講演内容(予定)

講演1「環境省の帰還困難区域等における環境回復に向けた取組」

寺西 制(環境省 環境再生・資源循環局 環境再生事業担当参事官室)

講演2「森林エッジでの空間線量率の長期・短期変動と Phits を用いたモデル解析」

原田 茂樹(福島大学 食農学類 生産環境学コース)

講演3「林産物の放射性セシウム汚染の実態とその推移」

大橋 伸太(国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所)

講演4「福島県における淡水魚と食物網への放射性セシウム移行」

石井 弓美子(国立研究開発法人 国立環境研究所 福島地域協働研究拠点)

講演5「福島第一原子力発電所処理水放出のための海洋環境モニタリングとその評価手法」

眞田 幸尚(国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構)

### 参加申込方法

氏名, 所属, 連絡先(電話番号、E-mail アドレス), 参加方法(対面またはリモート)を記載の上, 11 月 22 日(水)までに E-mail にてお申し込み下さい。リモートでの参加希望者には, 折り返し接続先(ZOOM の URL) を返答いたします。

参加費 無料

### 参加申込・問い合わせ先

日本大学工学部 中野和典

E-mail : [nakano.kazunori@nihon-uac.jp](mailto:nakano.kazunori@nihon-uac.jp)

Tel: 024-956-8719